

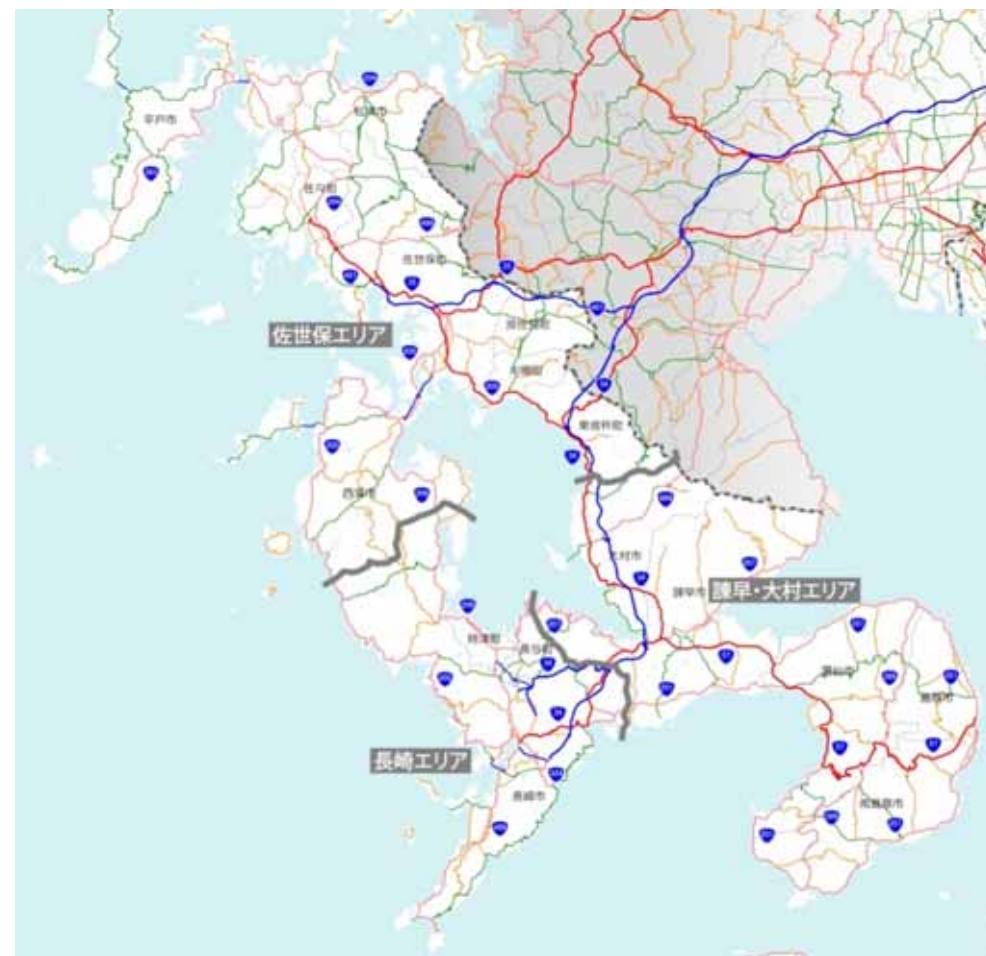
平成30年度 第1回 長崎県交通渋滞対策協議会

本会議の目的

- ①主要渋滞箇所(H25.1公表)のフォローアップ結果の確認
- ②今後の方針の協議

目 次

1. これまでの検討経緯	1
2. 主要渋滞箇所の現況と対策状況	4
3. 主要渋滞箇所のフォローアップ	9
4. 今後供用を予定している主な事業	15
5. 利用者団体と連携した渋滞対策	17
6. 今後の課題	20
7. 今後の予定	26



平成30年8月7日(火)

1. これまでの検討経緯

- ・最新の交通データ等を基に特定(更新)された主要渋滞箇所を踏まえ、渋滞対策を検討・実施
- ・以下のマネジメントサイクルにより、主要渋滞箇所等をモニタリングの上、随時見直し

長崎県における渋滞検討マネジメントサイクル

平成27年度 第1回 長崎県交通渋滞対策協議会(H27.8開催)で確認済み

最新の交通データによる渋滞状況の検証

…プローブデータの収集・分析等

地域の交通状況に対する

専門的見地からの検証

…データの精査・現地確認等の実施

渋滞対策協議会における議論

協議会構成主体：国土交通省 九州地方整備局、国土交通省 九州運輸局、長崎県、長崎県警察本部、長崎市、佐世保市
西日本高速道路(株)九州支社、(一社)長崎県バス協会

定期的な地域の声の反映

(パブリックコメントの実施等)

地域の主要渋滞箇所の特定(更新)

道路を賢く使う取組の観点

ソフト・ハードを含めた対策の検討・実施

・道路管理者、道路利用者(バス協会等)、県警等の意見を踏まえ、**主要渋滞箇所図等により各エリア単位で地域の課題を共有し議論を促進**

地域の渋滞の現状と渋滞対策の基本方針

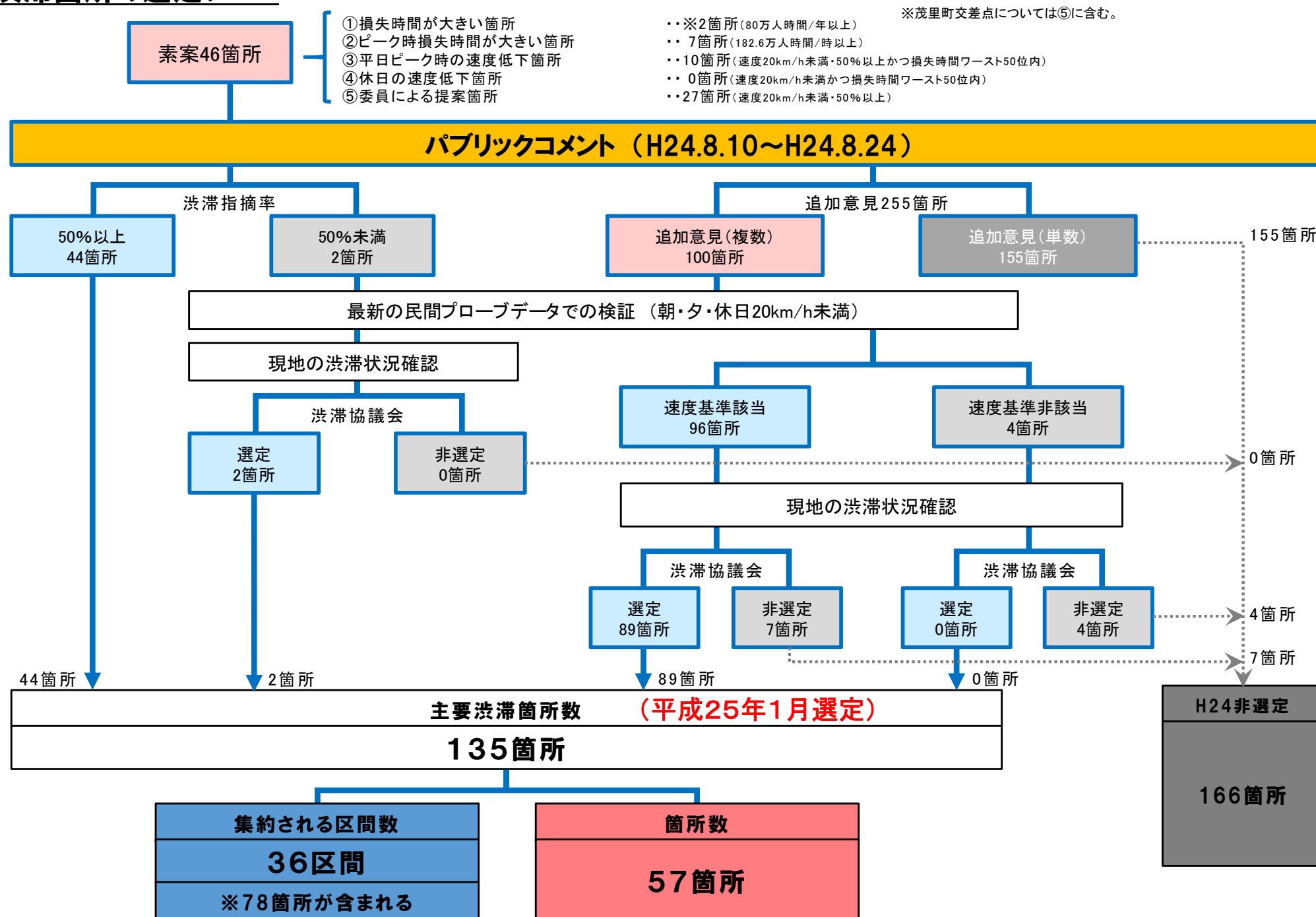
・円滑な渋滞対策の立案・実施を実現

(道路管理者が実施する対策、他機関の実施対策との連携、道路利用者(バス協会等)の参画による対策等)

モニタリング等による検証

1. これまでの検討経緯

主要渋滞箇所の選定フロー



1. これまでの検討経緯

・H25.1に主要渋滞箇所を公表し、渋滞対策の基本方針や今後の取り組みに対する協議を実施

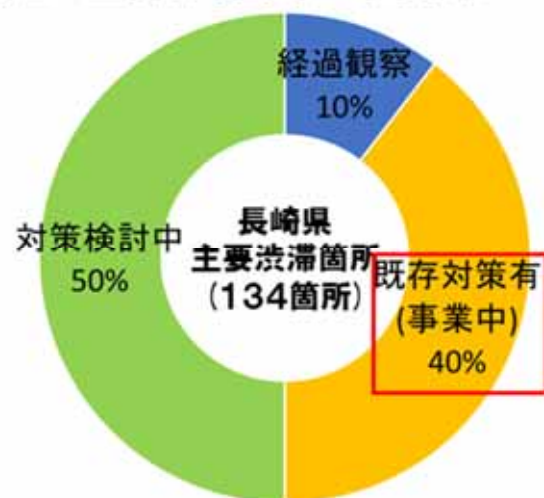
〔時期〕	〔実施内容〕	〔協議内容等〕
H24.6	H24年度 第1回 長崎県交通渋滞対策協議会	○基礎データの共有、意見交換
H24.7	H24年度 第2回 長崎県交通渋滞対策協議会	○地域の主要渋滞箇所(素案)の決定
H24.8 H24.11	パブリックコメントの実施 (一般道路) (高速道路)	
H24.12	H24年度 第3回 長崎県交通渋滞対策協議会	○地域の主要渋滞箇所の特定
H25.1	主要渋滞箇所の公表	○一般道路135箇所、高速道路6箇所
H25.7	H25年度 第1回 長崎県交通渋滞対策協議会	○渋滞対策の基本方針(案)、今後の取り組みの議論
H25.12	H25年度 第1回 長崎県交通渋滞対策協議会 ワーキング会議	○渋滞対策の基本方針(案)、渋滞検討マネジメントサイクル(案)の確認
H27.8	H27年度 第1回 長崎県交通渋滞対策協議会	○渋滞対策の基本方針(案)、渋滞検討マネジメントサイクル(案)、 モニタリング結果
H28.3	H27年度 第1回 長崎県交通渋滞対策協議会 ワーキング会議	○主要渋滞箇所のフォローアップ ○主要渋滞箇所の状況確認
H28.7	H28年度 第1回 長崎県交通渋滞対策協議会	○主要渋滞箇所のフォローアップ ○長崎エリアの対策方針
H29.3	H28年度 第1回 長崎県交通渋滞対策協議会 ワーキング会議	○主要渋滞箇所のフォローアップ ○主要渋滞箇所の状況確認
H29.7	H29年度 第1回 長崎県交通渋滞対策協議会	○主要渋滞箇所のフォローアップ ○主要渋滞箇所の解除(愛野交差点):主要渋滞箇所数135箇所⇒134箇所
H30.3	H29年度 第1回 長崎県交通渋滞対策協議会 ワーキング会議	○主要渋滞箇所のフォローアップ ○主要渋滞箇所の状況確認
今回 H30.8	H30年度 第1回 長崎県交通渋滞対策協議会	○主要渋滞箇所のフォローアップ ○主要渋滞箇所の状況確認

2. 主要渋滞箇所の現況と対策状況

(1) 長崎県内の主要渋滞箇所の対策状況 (一般道)

- ・全体の約5割の箇所に対策実施中(対策済み含む)、約5割が対策検討中
- ・一般道の対策として、国道34号大村諫早拡幅(本野入口交差点～与崎交差点)が新たに事業化

●一般道の主要渋滞箇所の対策状況



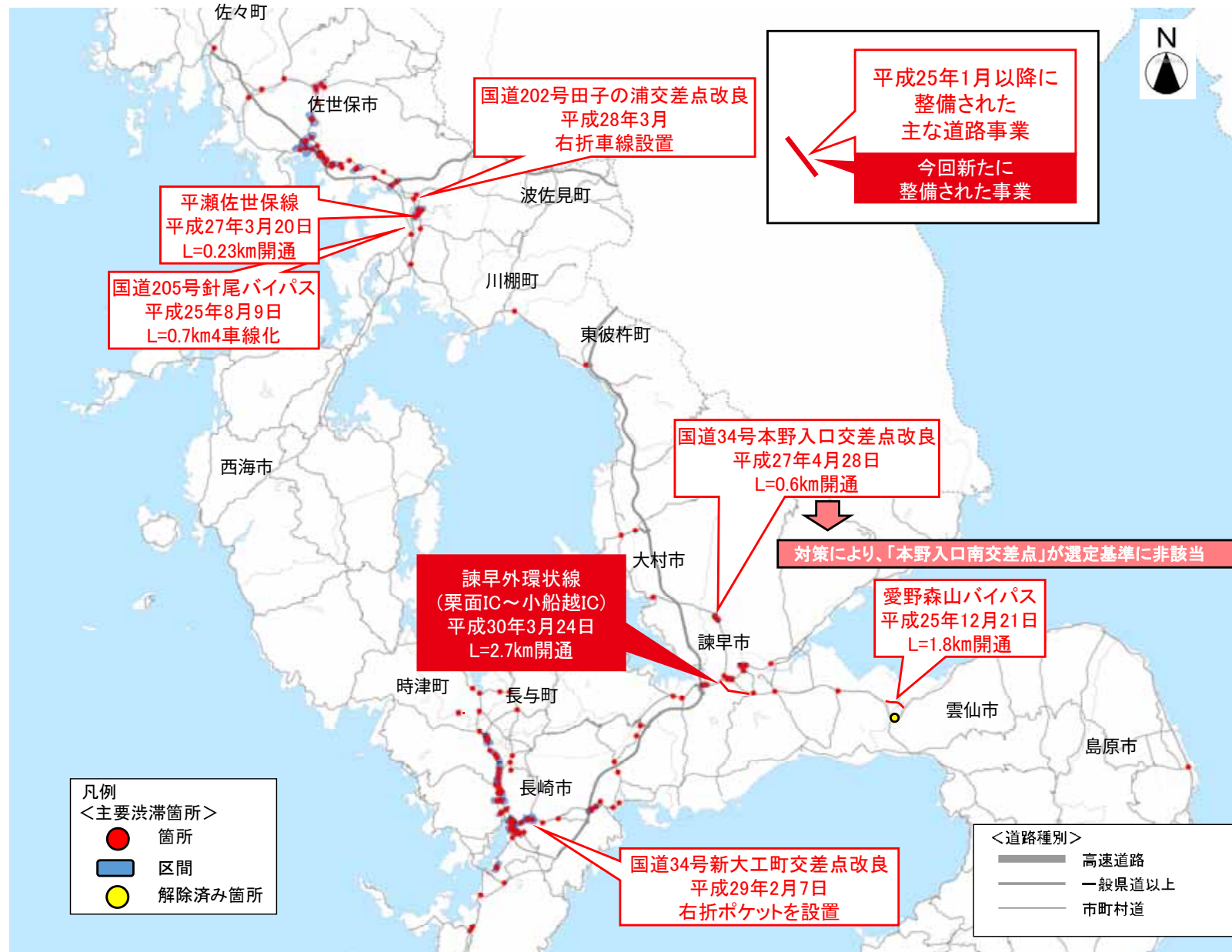
●実施中の一般道の対策事業



2. 主要渋滞箇所の現況と対策状況

(2) 道路整備が行われた主要渋滞箇所

H25年1月以降に整備された道路事業により、交通状況の変化が想定される主要渋滞箇所をフォローアップ



2. 主要渋滞箇所の現況と対策状況

(4) 長崎県内の主要渋滞箇所の対策状況 (高規格幹線道路)

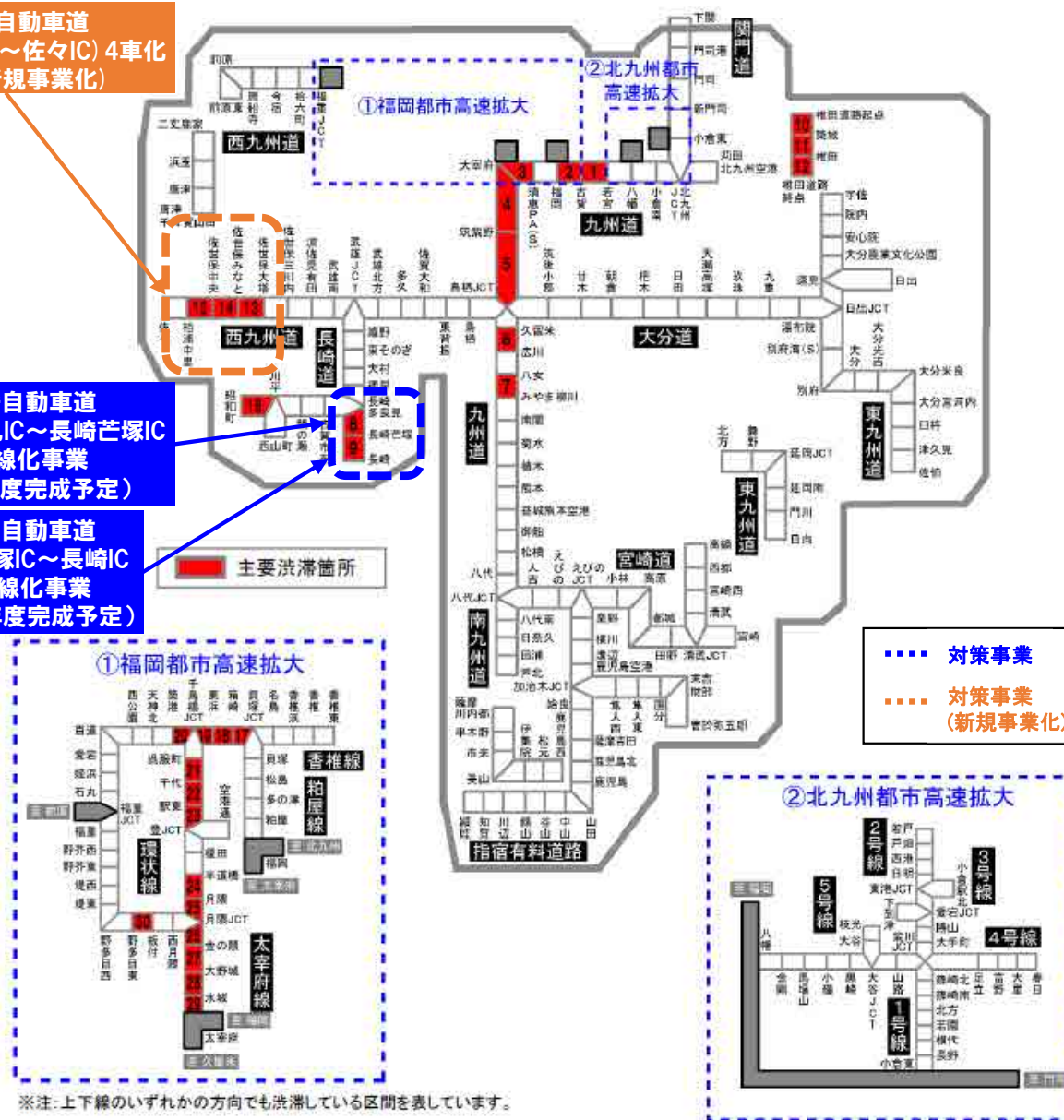
- 高規格幹線道路の対策として、平成30年4月に西九州自動車道 (佐々佐世保道路及び佐世保道路) の4車線化が新たに事業化

●実施中の高規格幹線道路の対策事業

西九州自動車道
(佐世保大塔IC～佐々IC) 4車化
(H30.4新規事業化)

長崎自動車道
長崎多良見IC～長崎芒塚IC
4車線化事業
(H30年度完成予定)

長崎自動車道
長崎芒塚IC～長崎IC
4車線化事業
(H33年度完成予定)



※注: 上下線のいずれかの方向でも渋滞している区間を表しています。

2. 主要渋滞箇所の現況と対策状況

(5) 新規事業箇所「西九州自動車道(佐々佐世保道路及び佐世保道路)の4車線化」(高規格幹線道路)

- ・平成30年4月に西九州自動車道(佐々佐世保道路及び佐世保道路)の4車線化が新規事業化
- ・事業区間は**暫定2車線区間に最大で約3万台が通行し、繁忙期などの交通集中や上り坂、サグ部、合流部等で速度低下がみられ、混雑が発生**
- ・整備による交通容量の拡大により定時性が向上。それに伴い**交通流動の変化が考えられ、混雑緩和に期待。**



●交通集中等によるサービス水準の低下

- ・暫定2車線区間に最大で約3万台の交通量。(図2)
- ・繁忙期などの交通集中や上り坂、サグ部、合流部等で速度低下がみられ、サービス水準が低下。(図3、写真1,2)

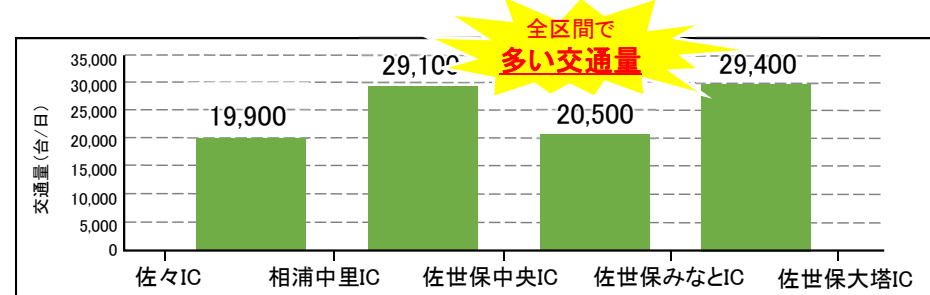


図2 区間別交通量

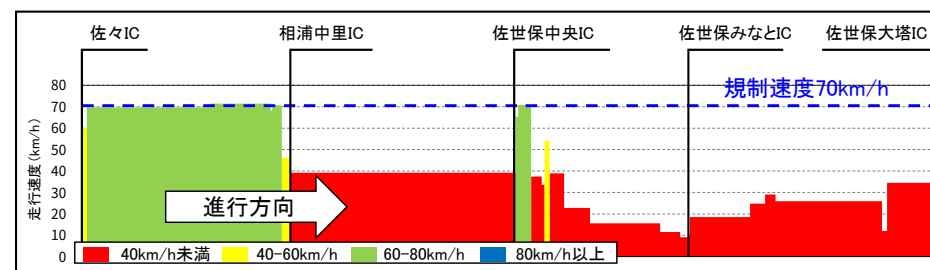


図3 繁忙期における速度状況図(下り:年始15時台)

※プローブデータ
(H29.1.2~1.3平均)



写真1 佐々佐世保道路の渋滞状況



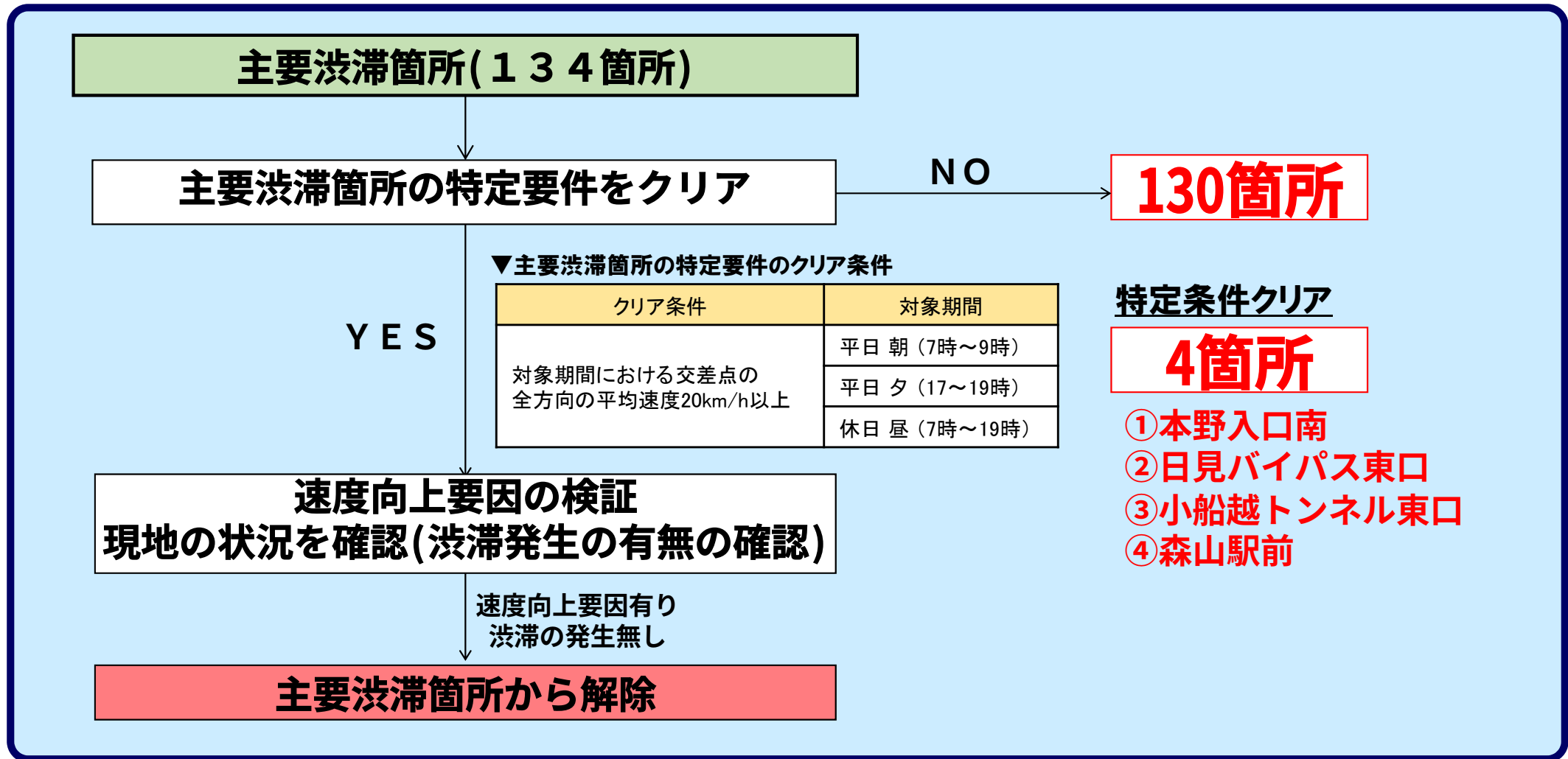
写真2 佐世保道路の渋滞状況

3. 主要渋滞箇所のフォローアップについて

(1) 交通状況フォローアップ

・最新の交通データを用いて、H24年度に特定した一般道の主要渋滞箇所のフォローアップを実施

【一般道のフォローアップ結果】



3. 主要渋滞箇所のフォローアップについて

(2) 特定要件クリア箇所のフォローアップ結果の確認

① 国道34号 本野入口南交差点 (対策済み箇所)

- ・近接する**本野入口交差点が2車線から1車線に減少するボトルネックの箇所**であり、その影響により本交差点においても**現地調査で渋滞の発生を確認していることから「経過観察」に位置づけし、今後もモニタリングを実施**

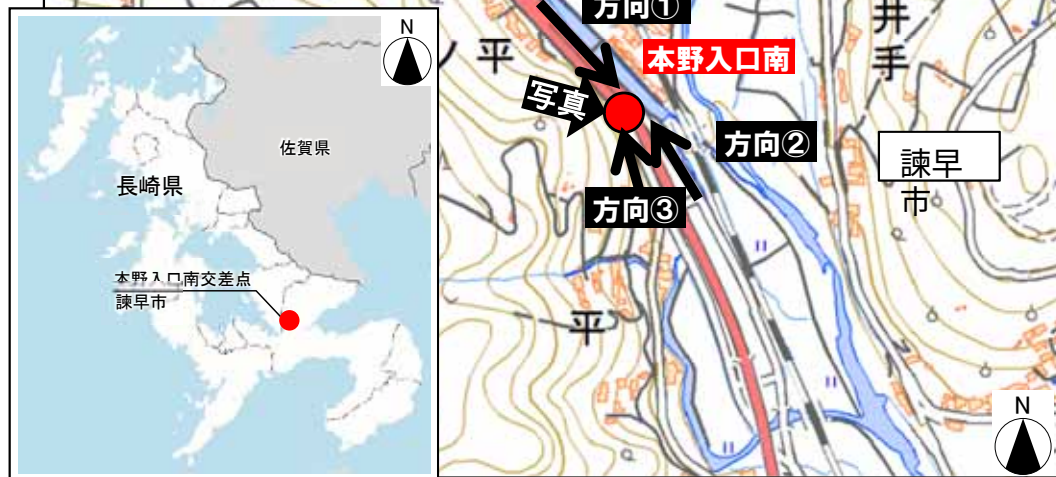
●モニタリング結果

単位: km/h

主要渋滞箇所					選定時(H24.4～H24.8平均)			最新(H29.4～H30.3平均)			位置づけ
名称	所在地	方向	路線	方角	平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼	
本野入口南	諫早市	1	国34	北西	51.1	49.8	49.7	59.0	57.0	59.0	経過観察
		2	国34	南東	29.6	43.9	46.3	50.8	51.6	53.4	
		3	市道等	南東	13.0	11.6	17.7	31.2	39.2	42.2	

▼本野入口南交差点位置図

※プローブデータ



② 国道34号 日見バイパス東口交差点 (事業中箇所)

- ・**2車線から1車線に減少するボトルネックの箇所**であり、**現地調査において渋滞の発生を確認していることから、「経過観察」に位置づけし、今後もモニタリングを実施**

●モニタリング結果

単位: km/h

主要渋滞箇所					選定時(H24.4～H24.8平均)			最新(H29.4～H30.3平均)			位置づけ
名称	所在地	方向	路線	方角	平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼	
日見バイパス東口	長崎市	1	県116	西	-	-	-	21.1	21.6	25.8	経過観察
		2	国34	東	19.8	19.6	20.8	28.8	38.3	40.1	
		3	国34	南西	43.3	39.7	48.0	44.5	38.1	48.0	

▼日見トンネル東口交差点位置図

※プローブデータ



3. 主要渋滞箇所のフォローアップについて

(2) 特定要件クリア箇所のフォローアップ結果の確認

③ 国道34号 小船越トンネル東口交差点 (事業中箇所)

・平成30年3月に諫早外環状線諫早インター工区が一部供用開始したが、**現地調査において渋滞の発生を確認**していることから、「**経過観察**」に**位置づけ**し、今後もモニタリングを実施

●モニタリング結果

単位: km/h

主要渋滞箇所					選定時(H24.4～H24.8平均)			最新(H29.4～H30.3平均)			位置づけ
名称	所在地	方向	路線	方角	平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼	
小船越トンネル東口	諫早市	1	国57	西	25.3	34.3	31.7	25.9	24.2	27.7	経過観察
		2	国57	東	9.9	16.0	16.8	26.2	31.6	31.8	

※プローブデータ

▼小船越トンネル東口交差点位置図



④ 国道57号 森山駅前交差点 (事業中箇所)

・現地調査において渋滞の発生を確認していることから、「経過観察」に位置づけし、今後もモニタリングを実施

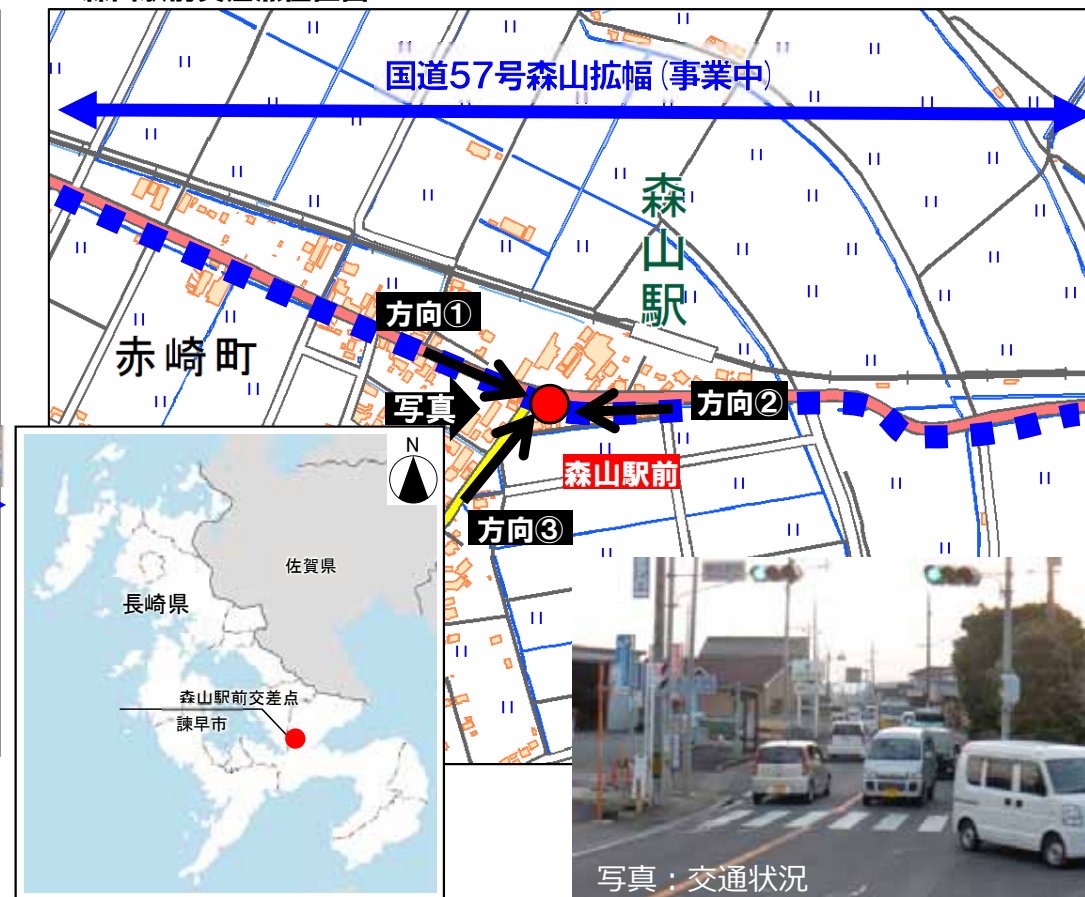
●モニタリング結果

単位: km/h

主要渋滞箇所					選定時(H24.4～H24.8平均)			最新(H29.4～H30.3平均)			位置づけ
名称	所在地	方向	路線	方角	平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼	
森山駅前	諫早市	1	国57	西	17.0	16.8	18.0	29.1	27.7	32.7	経過観察
		2	国57	東	31.7	33.9	34.2	28.7	29.3	31.1	
		3	県124	南西	-	-	27.7	42.5	27.8	26.4	

※プローブデータ

▼森山駅前交差点位置図



3. 主要渋滞箇所のフォローアップについて

(3) 道路整備が行われた主要渋滞箇所のフォローアップ結果の確認

- ・H25年1月以降に整備された道路事業により、交通状況の変化が想定される主要渋滞箇所のフォローアップ結果一覧に整理
- ・フォローアップの結果、**各交差点対策により速度向上が見られるものの特定要件（未整備方向が20km/h未満等）に該当するため、経過観察として位置づけ**
- ・今後、**経過観察箇所については各道路管理者が現地状況等を確認し、対応方針を検討**

データ:プローブデータ

道路整備により速度向上が見込まれている方向

●道路整備箇所のフォローアップ結果

交差点名	所在地	対策事業名	完了年次	路線	方向角	①選定時(H24.04-H24.08)			②今回(H29.04-H30.03)			今後の方針
						km/h			km/h			
						平日朝	平日夕	休日	平日朝	平日夕	休日	
田子の浦	佐世保市	田子の浦交差点改良/針尾バイパス整備	H28.3/H25.8	国202	北西	29.4	28.9	29.9	29.6	30.2	31.7	経過観察
				市道等	北東	5.7	7.3	8.3	-	-	-	
				国202	南西	9.8	7.8	9.3	9.2	9.3	11.0	
				県222	南東	13.0	12.2	15.0	16.4	16.7	17.7	
汐入橋	佐世保市	県道222号平瀬佐世保線整備/針尾バイパス整備	H27.3/H25.8	県222	北	25.9	18.9	23.9	28.0	19.4	21.4	経過観察
				県222	南東	25.0	18.7	24.3	24.9	18.4	21.8	
広田工業団地入口	佐世保市	県道222号平瀬佐世保線整備/針尾バイパス整備	H27.3/H25.8	県222	北	25.9	18.9	23.9	28.0	19.4	19.9	経過観察
				市道等	西	16.5	10.6	12.9	-	-	-	
				県222	南	25.0	18.7	24.3	24.2	22.6	23.6	
瀬戸中央橋東口	佐世保市	県道222号平瀬佐世保線整備	H27.3	市道等	北	29.4	18.9	23.0	-	-	-	経過観察
				県222	西	21.0	18.2	20.8	22.7	24.6	25.0	
				県222	東	-	-	-	18.2	15.6	16.9	
				市道等	南	36.6	30.8	33.6	-	-	-	
崎岡橋	佐世保市	県道222号平瀬佐世保線整備/針尾バイパス整備	H27.3/H25.8	県248	北	29.0	17.9	22.5	23.5	19.0	18.6	経過観察
				市道等	西	8.6	4.8	5.1	-	-	-	
				県248	南	44.2	37.6	40.5	43.1	33.0	39.7	
本野入口	諫早市	国道34号本野入口交差点改良	H27.4	国34	北西	19.8	21.6	24.2	36.9	39.2	38.8	経過観察
				県212	北東	31.9	28.8	32.1	39.3	30.8	30.0	
				国34	南東	21.8	25.9	26.3	17.6	22.8	26.7	
本野入口南	諫早市	国道34号本野入口交差点改良	H27.4	国34	北西	51.1	49.8	49.7	59.0	57.0	59.0	経過観察
				国34	南東	29.6	43.9	46.3	50.8	51.6	53.4	
				市道等	南東	13.0	11.6	17.7	31.2	39.2	42.2	
新大工町	長崎市	国道34号新大工・馬町交差点改良	H29.2	市道等	北	3.0	4.5	5.0	-	-	-	経過観察
				国34	西	29.2	18.9	21.9	27.8	25.0	29.9	
				国34	東	14.6	12.2	18.5	22.7	19.1	25.6	

凡例

20km/h以下

3. 主要渋滞箇所のフォローアップについて

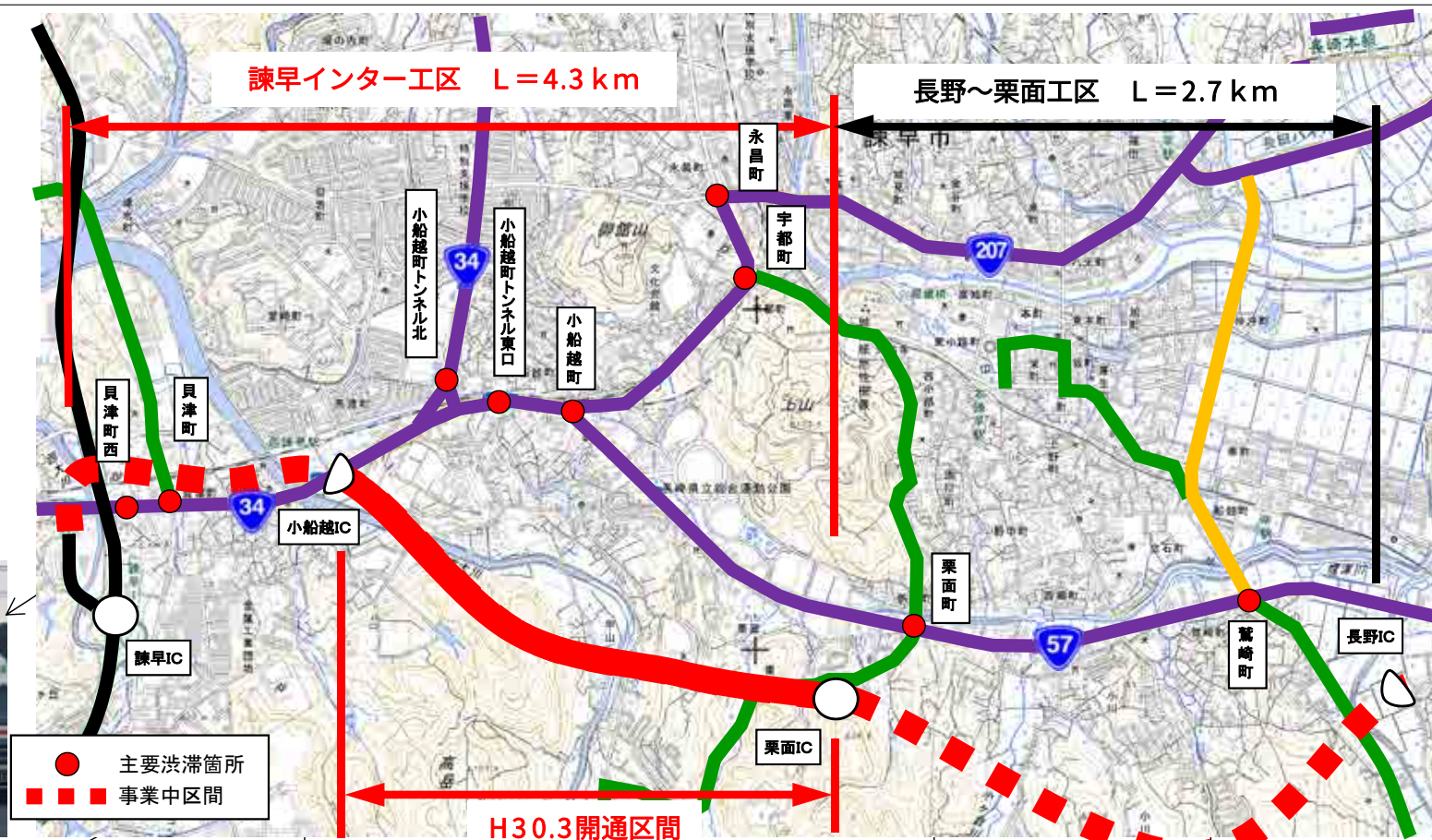
(4) 新たに道路整備が完了した箇所(諫早外環状線諫早インター工区(栗面IC～小船越IC))

- ・平成30年3月に諫早環状線諫早インター工区(小船越IC～栗面IC間)が供用。
- ・諫早外環状線整備により、並行路線の主要渋滞箇所における**渋滞対策未実施箇所の渋滞緩和に期待(今後フォローアップを実施)**

▼諫早外環状線の位置図



▼並行路線の渋滞状況



3. 主要渋滞箇所のフォローアップについて

(5) 交通状況フォローアップ結果

- ・主要渋滞箇所の解除については、最新のデータや現地状況等を確認し、各箇所毎に協議会で判断して解除判断を実施
- ・今年度協議会では特定要件をクリアした主要渋滞箇所を4箇所確認したが、フォローアップ結果を踏まえて、解除候補箇所は**無しとする**。

主要渋滞箇所

主要渋滞箇所の特定要件をクリア

4箇所

▼主要渋滞箇所(一般道)の特定要件

曜日・時間帯	特定要件
平日 朝 (7時～9時)	平均速度20km/h未満 ※いずれか一方でも該当する箇所
平日 夕 (17～19時)	
休日 昼 (7時～19時)	

NO

YES

未対策箇所

3箇所

②日見バイパス東口
③小船越トンネル東口
④森山駅前

対策済箇所

1箇所

①本野入口南

現地状況確認

※渋滞状況

1箇所

渋滞有

渋滞緩和

速度向上要因検証

※現地状況確認等

要因有

要因不明 (数年間モニタリング)

3箇所

経過観察 (現地状況確認の結果)

解除箇所

0箇所

(渋滞協報告)
引き続き主要渋滞箇所として登録

(渋滞協議論) WG・道路管理者等で検証、立案
された対策 等

渋滞対策 協議会

(渋滞協議論)
引き続き主要渋滞箇所
として登録する判断

4箇所

①本野入口南 ③小船越トンネル東口
②日見バイパス東口 ④森山駅前

(渋滞協議論)
解除箇所の判断
※協議会資料等で公表

0箇所

4. 今後供用を予定している主な事業について

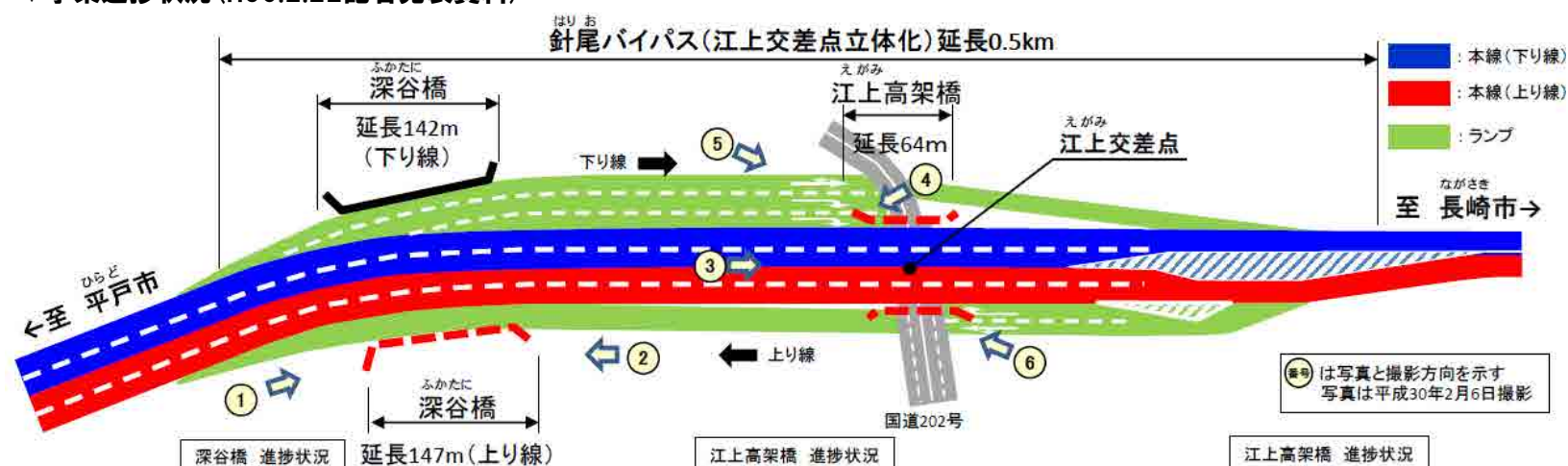
(1) 国道205号針尾バイパス江上交差点立体化

・平成31年度に国道205号針尾バイパスの江上交差点の立体化が完了予定、立体化に伴い、江上交差点の混雑緩和に期待

▼事業位置図



▼事業進捗状況 (H30.2.22記者発表資料)



▼事業概要図



4. 今後供用を予定している主な事業について

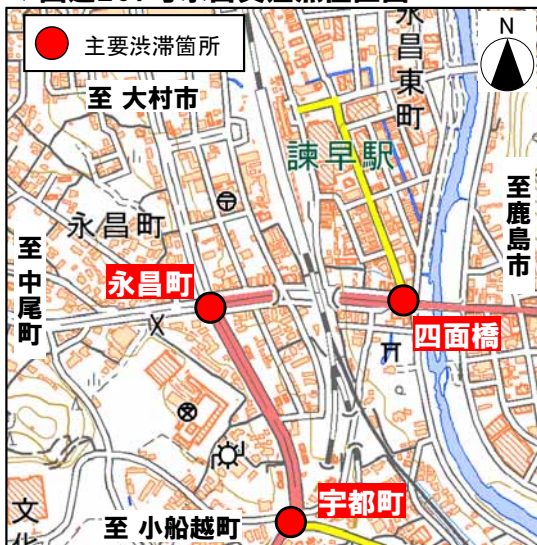
(2) 国道207号永昌町交差点の改良

- ・国道207号永昌交差点では、鹿島市方面から大村市方面へ及び中尾町方面から小船越町方面への右折レーン設置を今年度実施予定、**永昌町交差点の混雑緩和に期待、今後フォローアップを実施**

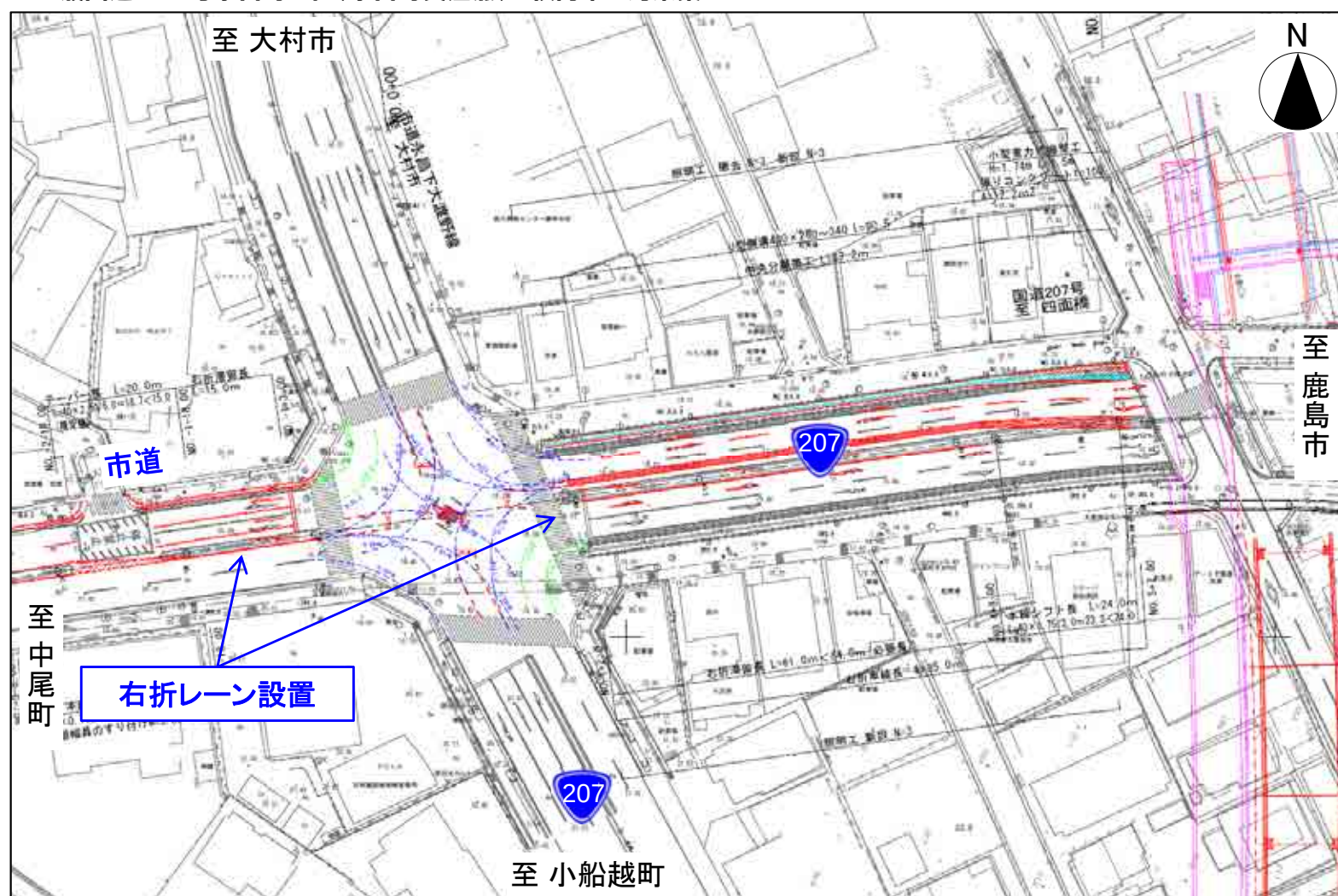
▼国道207号永昌交差点位置図



▼国道207号永昌交差点位置図



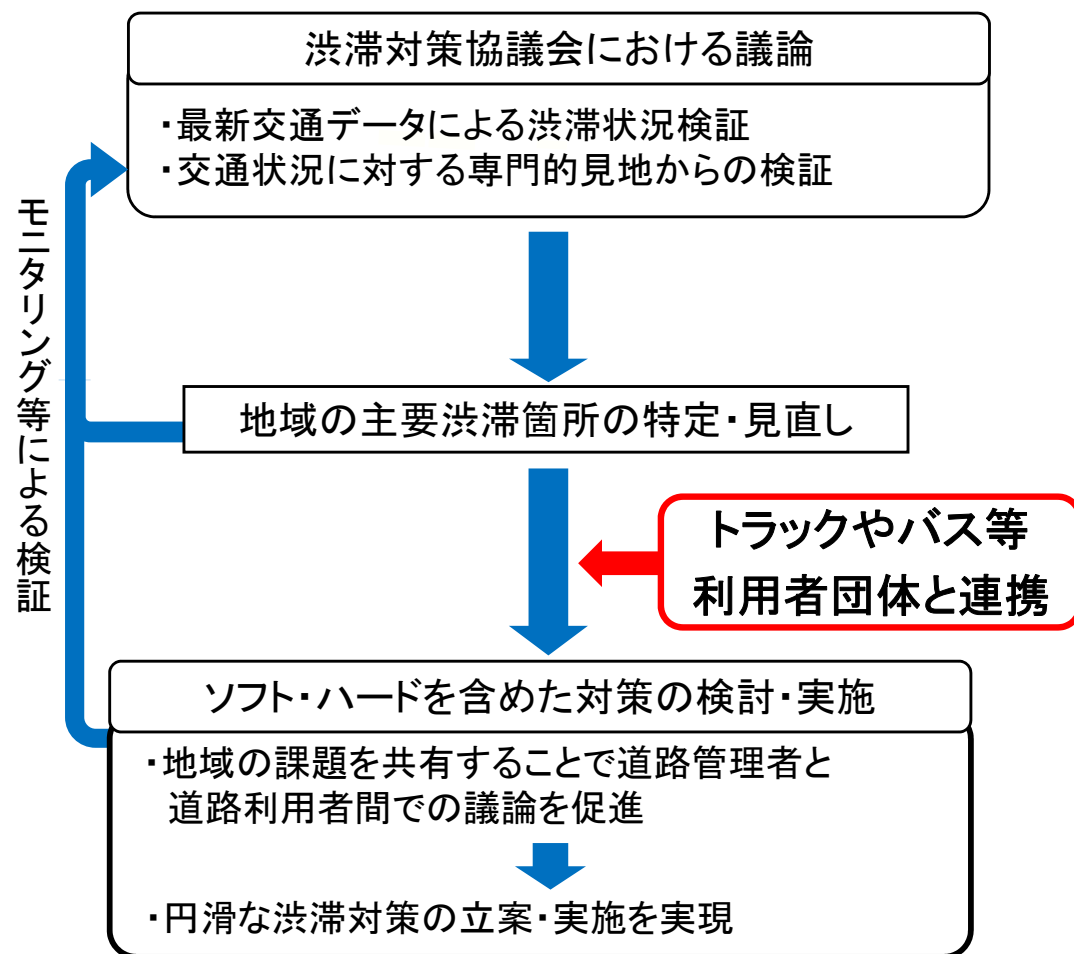
▼一般国道207号永昌町工区(永昌町交差点)の検討中の対策案



5. 利用者団体と連携した渋滞対策

(1)トラック・バス等の利用者団体と連携した渋滞対策

- ・人・物の輸送の効率化を図るため、渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、即効性のある渋滞対策を実施
- ・長崎県内では、対策要望に挙がっている「諫早IC付近」の対策検討に着手



<トラックが渋滞に巻き込まれている状況>



<バスが渋滞に巻き込まれている状況>

5. 利用者団体と連携した渋滞対策

(1)トラック・バス等の利用者団体と連携した渋滞対策

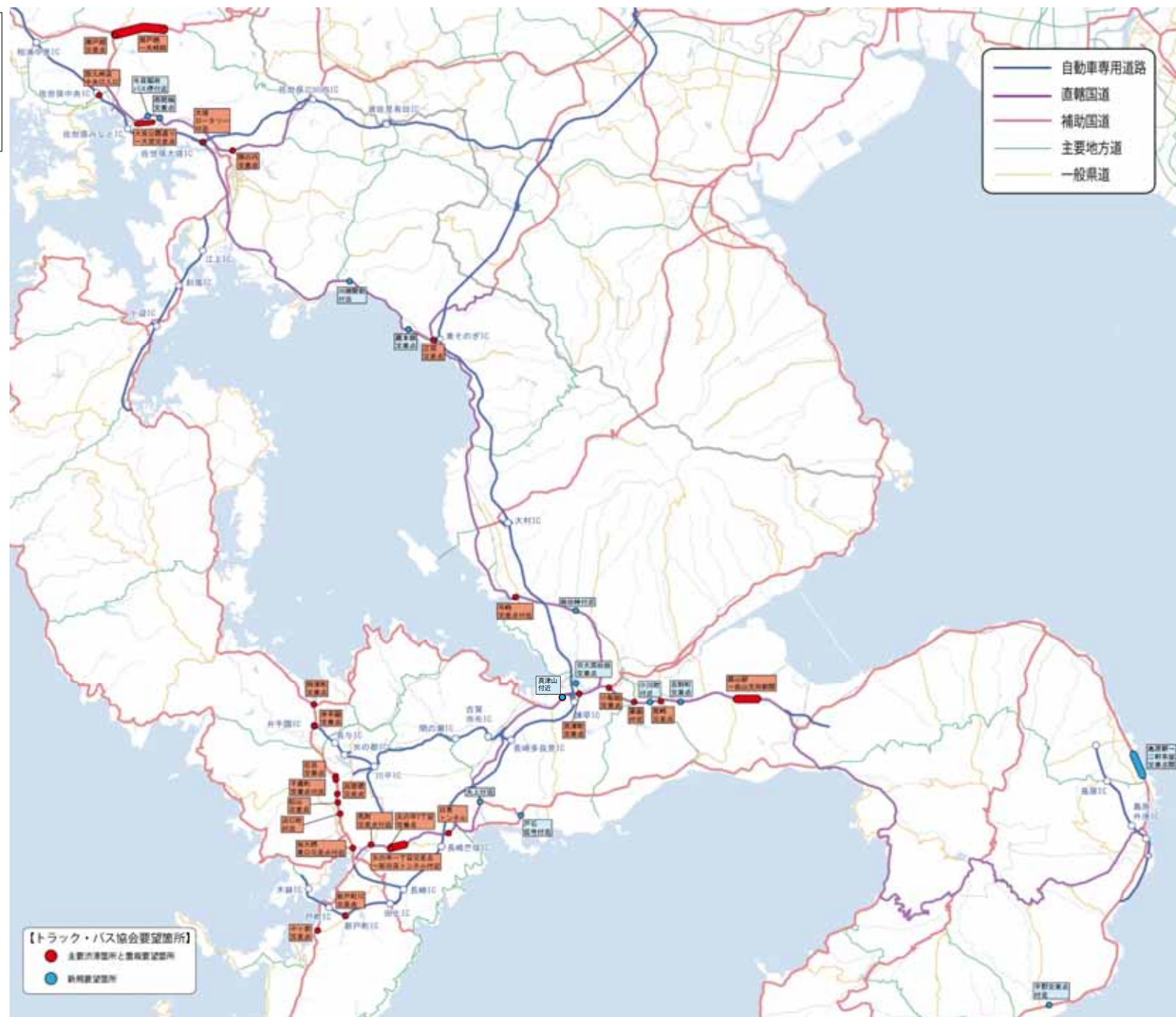
- ・トラック事業者・バス事業者から見た渋滞箇所として、長崎県内では、43箇所を抽出。
- ・うち13箇所は主要渋滞箇所以外。

資料:「道路整備促進に対する各地区要望事項」
(全国道路利用者会議 H29.10.19第67回全国大会)

▽トラック事業者・バス事業者からみた渋滞箇所数
(長崎県内)

		箇所数		
		主要 渋滞 箇所	その 他の 箇所	
トラック協会 要望箇所	長崎県内	31	22	9
	長崎エリア	15	13	2
	佐世保エリア	6	3	3
	諫早・大村エリア	10	6	4
バス協会 要望箇所	長崎県内	18	14	4
	長崎エリア	7	7	0
	佐世保エリア	5	4	1
	諫早・大村エリア	6	3	3
合計	長崎県内	43	30	13
	長崎エリア	18	16	2
	佐世保エリア	11	7	4
	諫早・大村エリア	14	7	7

※協会間の要望重複6箇所(長崎エリア4, 諫早・大村エリア2)

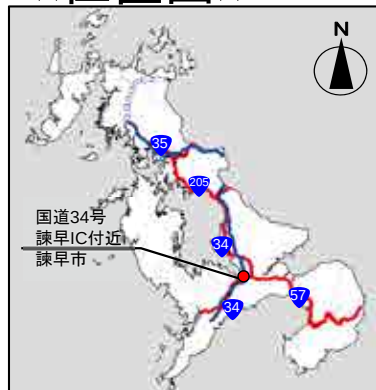


5. 利用者団体と連携した渋滞対策

(1)トラック・バス等の利用者団体と連携した渋滞対策

- ・諫早IC付近の交差点では、右折車両が直進車両の進行阻害が発生、右折レーン整備により、直進車の進行阻害を解消(平成30年8月6日23時完了)
- ・一方で貝津町交差点を先頭とする渋滞は残存することが想定され、引き続き交通状況をモニタリングすると共に、追加対策を検討

《位置図》



《広域図》



《説明図》

対策前

◆右折車両が直進車両の進行を阻害

凡例
 右折車両
 直進車両

右折レーン
未整備

貝津町交差点を
先頭とする渋滞

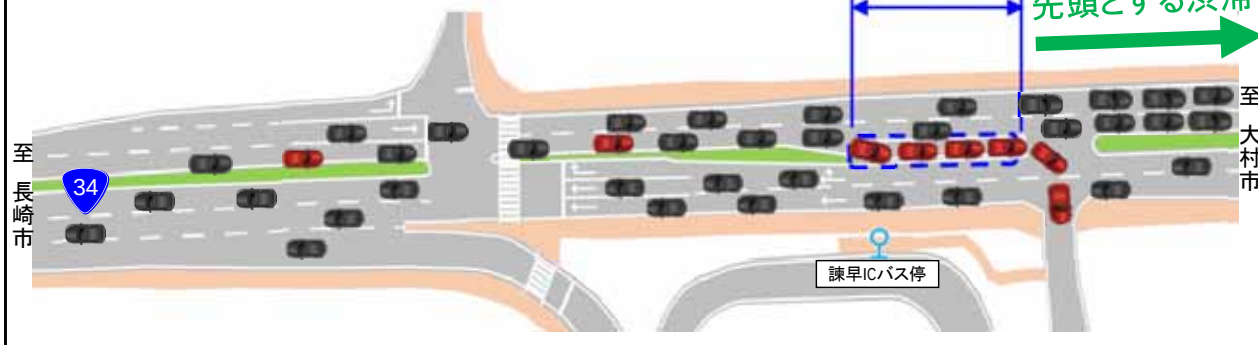


対策後

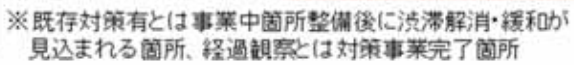
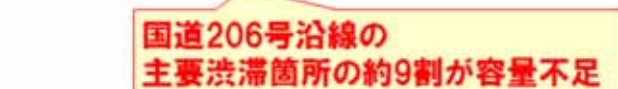
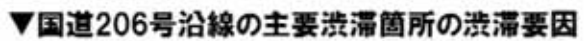
右折レーンの設置(30m)

緩和が見込まれるが渋滞は残存

貝津町交差点を
先頭とする渋滞



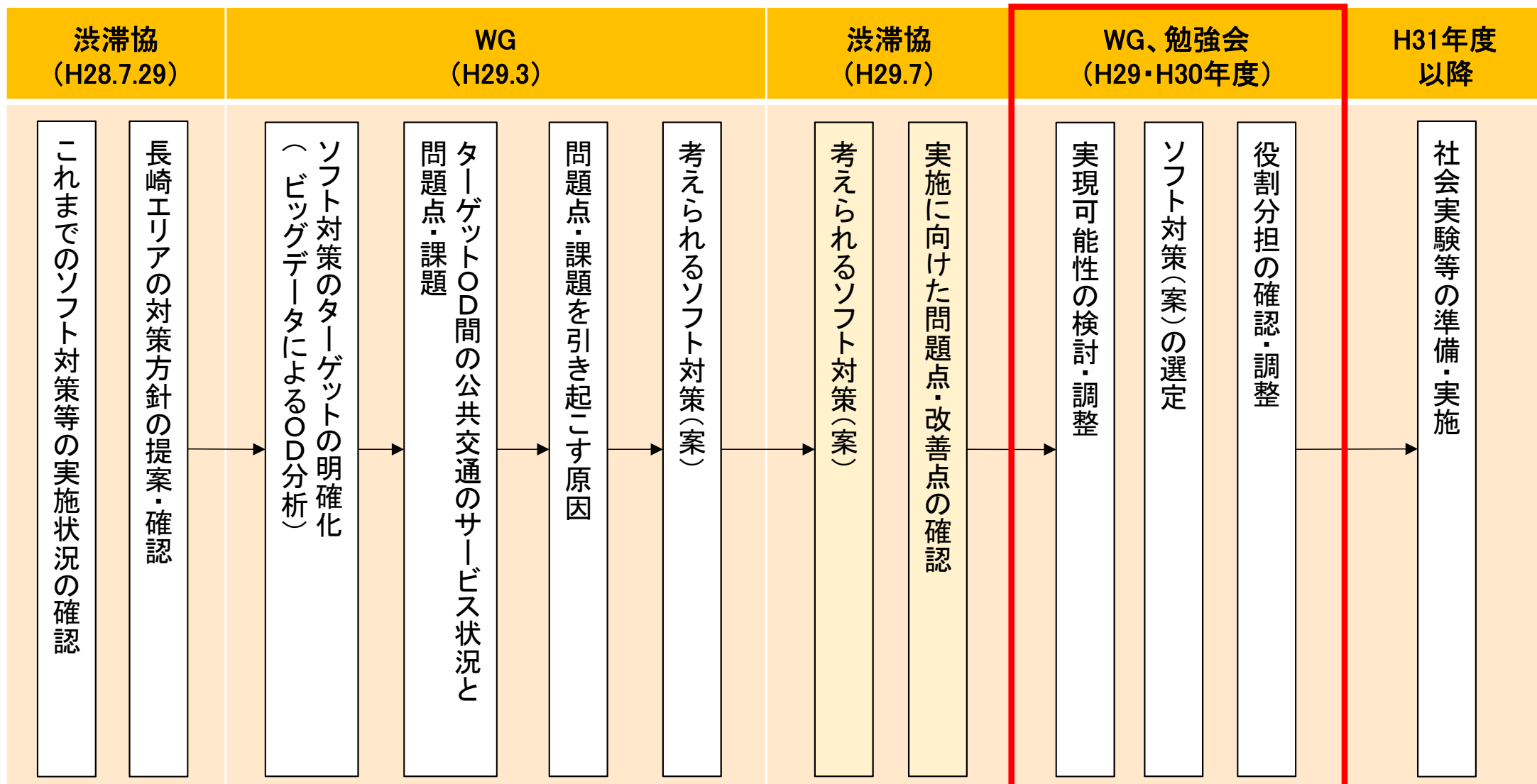
- ・南北方向の幹線道路である国道206号沿線には、長崎エリアの約4割(25箇所)が集中し、約9割の箇所が容量不足が要因
- ・長崎南北幹線道路が事業化した場合、既存対策有の箇所が約3割から約6割へ増加



6. 今後の課題

(2) 新たなソフト対策の検討

- ・抜本的なハード対策は事業期間が長く、対策実施に時間を要するため、市中心部の国道34号の混雑緩和に向けては短期間で実施可能なピンポイント対策やソフト対策を検討
- ・平成28年度渋滞協より、都市部のソフト対策について討を開始し、今年度は考えられるソフト対策(案)について、ワーキング会議や勉強会等を通じて、実現の可能性の検討・調整を実施予定



今年度の検討内容

6. 今後の課題

(2) 新たなソフト対策の検討

・平成28年度長崎エリアワーキング(H29.3.8)で提案したソフト対策案について、実現可能性に関するヒアリング調査を実施。
(ヒアリング先:長崎県交通局運輸課, 長崎自動車(株)運転課)

主な問題点・課題	原因	ソフト対策(案)	バス事業者の主な意見
【バス】 所要時間が長い	路線バスの多くは国道34号の旧道を利用	①日見バイパス経由のバス路線の増便 (※朝の通勤時間帯など: バス事業者との協議・調整)	・沿線土地利用からバイパス経由路線の増便は難しい。
	各バス停に停車	②通勤シャトルバス・ノンストップバス等の運行 (※朝の通勤時間帯など: バス事業者との 協議・調整)	・新日見トンネル4車線供用後、道路交通の状況や利用者からの要望次第では、 ノンストップ便拡充の可能性はある。
	県庁方面に大きく迂回	③路面電車の端末である蛍茶屋にバスと路面電車の乗継拠点(ターミナル)を整備(※現ロイヤルホスト用地の活用など) 併せて、バスと路面電車の乗継料金割引を実施(※長崎スマートカードの活用など)	・蛍茶屋～最終目的地間の距離、乗継に対するストレス意見等から、蛍茶屋電停での乗継拠点化は難しい。
	国道34号の渋滞により走行性・定時性が低下	④新日見トンネル開通(4車線化)に合わせて、国道34号にバス専用・優先レーンを整備(※切通→蛍茶屋間: 朝7-9時など)	・バスの円滑な運行に繋がり、バイパス路線拡充の可能性はある。 ・車両や乗務員の配置の関係から、現状においては考え難い。
【JR】 駅へのアクセス性が低い	JR駅は郊外に立地	⑤駅周辺でのP&R駐車場の整備拡大及び利用促進 市布駅: 駅周辺に駐車場有り (37台、100円/30分、最大400円/日、3,340円/月) 肥前古賀駅: 駅前に駐車場有り (15台、100円/30分、最大400円/日) 現川駅: 駅前に駐車場有り (28台、3,500円/月)	・バス→鉄道(郊外駅～長崎都心)の需要は少ない。 ・現在の需要では、市布・肥前古賀・現川駅アクセス便の拡充は難しい。

6. 今後の課題

(3) 大塔IC料金所出口交差点の対策

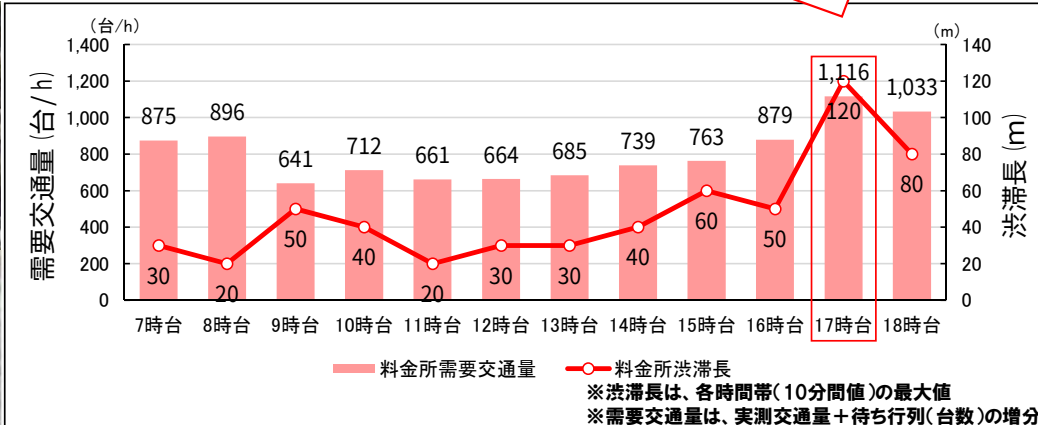
- ・大塔IC料金所入口交差点は、佐世保大塔IC(OFFランプ)の交通と並行する市道の交通を信号制御で処理する交差点
- ・双方ともに交通量が多く日常的に渋滞が発生、特に佐世保大塔IC(OFFランプ)の渋滞では、渋滞長が最大120mとなり本線への影響が懸念
- ・佐世保大塔IC(OFFランプ)の渋滞対策として、**タピーク時に青時間増加を検討**

▼佐世保大塔IC(OFFランプ)の道路構造



▼佐世保大塔IC(OFFランプ)の渋滞長

渋滞長が最大120m



対策

料金所側の青時間を+5秒し、料金所側の交通容量を拡大

タピーク時	第1現示	第2現示	サイクル長
信号現示	料金所出口交差点 市道 料金所 至国道35号 至国道205号	料金所出口交差点 市道 料金所 至国道35号 至国道205号	
対策前	青:40秒、黄:3秒、赤:3秒	青:55秒、黄:3秒、赤:3秒	107秒
対策後	青:45秒、黄:3秒、赤:3秒	青:55秒、黄:3秒、赤:3秒	112秒

第1現示の青時間増加(+5秒)

▼広域図



▼渋滞写真



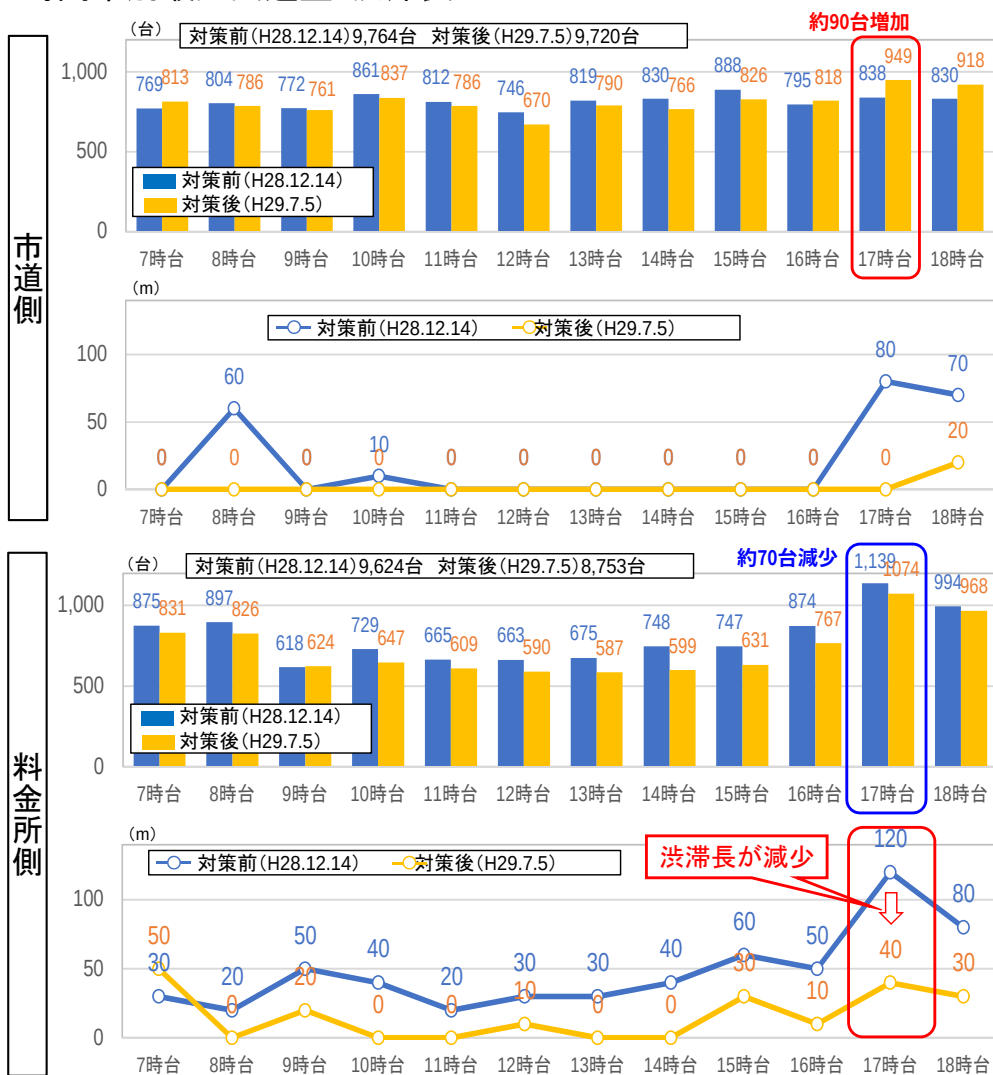
6. 今後の課題

(3) 大塔IC料金所出口交差点の対策

① 調査結果報告

- 時間帯別交通量は、市道側ピーク時間で約90台の増加がみられたが、料金所側では約70台減少。
- 市道側の渋滞は概ね解消。
- 料金所側の最大渋滞長は120mから50mに緩和。

●時間帯別最大交通量・渋滞長



② 追加対策(案)

＜追加対策案＞

国道205号への流出が7割であるため、国道35号経由での国道205号（針尾バイパス方面）へ誘導

信号現示調整、大塔IC入口交差点の交通状況を見て判断

追加対策案



■脇崎交差点～早岐瀬戸大橋間の距離・所要時間・信号交差点数

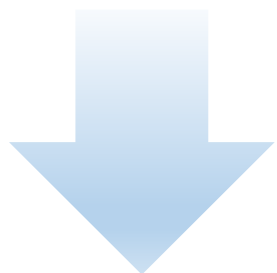
	距離 (km)	所要時間(分)			信号 交差点数
		朝ピーク時 (7-8時台)	昼間 (9-16時台)	夕ピーク時 (17-18時台)	
①国道35号ルート	3.0	5.6	5.9	6.9	6
②市道ルート	2.8	5.9	6.0	8.0	5
差分(①-②)	0.2	-0.3	-0.1	-1.1	1

全時間帯で、国道35号経由の方が所要時間は短い

資料：プローブデータ(H27年度平日平均)

平成30年8月

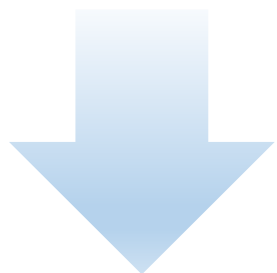
第1回長崎県交通渋滞対策協議会



- ・主要渋滞箇所のフォローアップ
- ・主な渋滞対策事業の報告
- ・課題の共有

平成30年10～11月

長崎、佐世保、大村・諫早地区エリアワーキング



- ・経過観察箇所の原因分析
- ・道路利用者団体からの要望箇所の原因分析
- ・ピンポイント対策やソフト対策の検討

平成31年1月～3月

第2回長崎県交通渋滞対策協議会

- ・実施した対策の効果検証
- ・渋滞対策(ピンポイント対策、ソフト対策)の検討状況の報告
- ・主要渋滞箇所の見直し